

学習指導案 中学校第2学年英語科

日時 平成21年10月6日(火)実施
佐賀市立大和中学校2年35名
指導者 教育センター所員 吉原 正

1 単元名 Unit 4 Homestay in the United States

2 単元について

- 本単元では、ホームステイの話題を取り扱っている。健が夏休みにアメリカへ行き、ホームステイを経験するという設定である。ガイドブックを通してホームステイについて知り、考えることとなる。また、生活様式や文化の違い、コミュニケーションの大切さについても考えさせる題材である。

言語材料は助動詞(don't) have to, will(won't), must(n't)を扱っている。助動詞に関しては、1年生で can を既に学習している上に、動詞の語形変化がないため、比較的理解しやすい文法事項であると言える。また、表現の幅を広げることが可能になるため、自己表現活動にも有効な言語材料である。

- 本学級は、明るく積極的な生徒が多く、熱心に授業に参加している。ALT との授業は特に楽しいと感じているようである。しかし、3～4文の英語で相手に話したり書いたりする表現活動にはあまり慣れていない。特に、書く活動には時間が必要で、前単元では「夏休みの思い出」という英作文を書かせたが、文法の定着に時間がかかり、発表する時間が取れなかった。

近年、海外旅行だけでなく国際交流事業も盛んになり、中学生が海外にホームステイしたり、海外の生徒を受け入れたりすることが珍しくなくなってきた。しかし、事前アンケートで、「アメリカと日本の習慣が違うことを知っていますか。」「ホームステイという言葉を知っていますか。」などの質問に対し、それぞれ90%、80%が「知らない」と回答しており、本学級の生徒にはホームステイがそれほど身近なものではないようである。

また、事前テストでは「I play soccer well.」に助動詞 can をどの位置に入れるか。の問いに、97%の生徒が正解しているが、can の位置を「主語と動詞の間」と認識している生徒が多い。

- したがって、本単元の指導では、ホームステイがより身近なものになるように ALT を活用し、話したり書いたりする活動を単元に位置付け、伝えることに慣れさせながら、表現力を育てていきたい。

まず、ホームステイをより身近なものに感じるように、ALT を活用したい。ALT は日本の滞在期間が長く、日本でのホームステイの経験も豊富で、その話を聞いたり読んだりすることで、ホームステイについて考えさせたい。

次に、話したり書いたりする活動を単元に位置付け、4技能をバランスよく指導していきたい。話す活動としては、「夏休みの思い出」を毎時間の最初に数人ずつ発表させる。生徒たちは発表するために授業中不足していた音読練習を行い、聞く生徒たちにとってはリスニング活動にもなる。繰り返し学習することで、定着を図りたい。

書く活動としては、「人物紹介」を書かせる活動を行う。1年生の2学期で学習した言語活動であり、助動詞を新たに加えて3～4文の英文を書かせたい。この活動では、「だれのことを書くのか」と「何を書くのか」を生徒たちが決めるまでに時間が掛かることが予想される。そこで、「だれのこ

とを書くのか」については事前に教師が設定する。「何を書くのか」については、有名人の得意なことやしなければならないことを **can** や **have to** などの助動詞を活用して自由に表現させたい。書くことを通して、「ALT に自分の英語が通じた！」という達成感を味わわせたい。

3 単元の目標

ホームステイについて考える活動を通して、コミュニケーションの大切さを学ばせる。また、助動詞を使って日本の有名な人物をまとめた英文で自己表現ができるようにさせる。

4 単元の評価規準

- (1) 間違えることを恐れずに自分の考えなどを書いている。【関心・意欲・態度】
- (2) 助動詞を使って、伝えたい内容を正確に相手に話したり書いたりすることができる。【表現】
- (3) 教科書本文を読み、内容を理解することができる。【理解】
- (4) スピーチを聞いて、具体的な内容や大切な部分をメモすることができる。【理解】
- (5) 助動詞(don't) have to, will, must(n't)を用いた文の形・意味・用法を理解する。【言語・文化】
- (6) ホームステイについて知り、日米の違いやコミュニケーションの大切さを理解する。【言語・文化】

5 単元の指導計画（全7時間）

| 時配 | 学習活動 | 教師の指導・支援 ◎評価規準【観点】(評価方法) |
|---------|---|---|
| 1 | 1 have to, don't have to を使って自分のお手伝いのことを英文で書く。 2 できた英作文をみんなで出し合い、クラスで「人気お手伝いベスト3」を調べる。 3 Starting Out の内容を理解する。 | ○ 接続詞 but を使い、長い文に挑戦させる。 ◎ have to, don't have to を使って伝えたい内容を正確に話すことができる。【発表の観察】 ○ ホームステイで大切なことやしなければならないことを予想させてから本文を読み取らせる。 |
| 1 | 1 Dialog の内容を理解し、ペアで教科書の続きを発表する。 2 will の意味・用法を理解する。 | ○ 音読の時間を十分取る。 ◎ 教科書の内容を理解することができたか。【理解】(観察) ○ will と be going to の違いを例示する。 |
| 2 TT | 1 Reading for Communication の内容を理解する。 2 must, mustn't の意味・用法を理解する。 3 ALT の体験談を聞き、日本とアメリカの共通点と相違点を見付ける。 | ○ 読み取りの観点を事前に示し、理解の助けとする。 ◎ 教科書の内容を理解することができたか。【理解】(ワークシート) ○ don't have to = mustn't とならないように例示する。 ○ 事前に話す内容についてはクイズにして渡しておく。 |
| 1 | 1 Listening Plus 4 のスピーチを聞き、内容を理解する。 | ◎ スピーチを聞いて、具体的な内容や大切な部分をメモすることができる。【理解】(教科書 p.45 Step 2) |

| | | |
|---------|---|--|
| | <p>2 まとめ練習 2 で助動詞の復習をする。</p> <p>3 単元末に“Can you get it?”という発表会を行うことを知り、くじ引きで紹介する日本人を決める。</p> <p>4 例に習って、下書き用紙に紹介文を書く。</p> | <p>○ 並べ替え問題は難しいので、黒板にカードを掲示し、主語+助動詞+動詞の語順に注目させる。</p> <p>○ 35 人のリストは生徒と ALT から事前に希望を取り、候補を選んでおく。</p> <p>○ 石川遼選手の例を示し、イメージができるようにさせる。</p> <p>○ 原稿は回収し、文法や表現の助言を書いておく。</p> |
| 1 本時 | <p>1 前時に書いた紹介文を、助言を基に清書用紙に書き直す。</p> <p>2 友達の書いた英文を読んで、だれの紹介文なのかを答える。</p> <p>3 友達の意見を参考に書き直す。</p> | <p>○ can, have to を使うように指示する。年齢や容姿の特徴も例示する。</p> <p>○ 司会者を決めさせ、話し合い活動がスムーズに行われるようにさせる。</p> <p>○ 職業、年齢、しなければならないことなど、友達の表現を参考にするように促す。</p> <p>◎ 意欲的に書き直している。【関心・意欲・態度】(清書用紙)</p> |
| 1 TT | <p>1 “Can you get it?”の班代表の作品を発表し、ALT に答えてもらう。</p> <p>2 残り全員の作品を発表し、ALT に答えてもらう。</p> <p>3 清書用紙に最後にもう 1 文書き加える。</p> <p>4 広用紙に作品を掲示し、自己評価を行う。</p> | <p>○ 正解が分からない場合は、質問をしてよいこととする。</p> <p>○ 友達の発表をリスニング活動として聞き、正解を予測させる。</p> <p>◎ 助動詞を使って、3～4 文の英語で日本人を紹介することができる。【表現】(清書用紙)</p> <p>○ 優秀作品の幾つかは他のクラスで出題することを知らせておく。</p> |

6 本時の目標

- ・ 分かりやすい英文になるように、紹介文を積極的に書き直している。【関心・意欲・態度】

7 本時の展開 (6/7)

| | 学習内容及び学習活動 | 教師の指導・支援 ◎評価規準【観点】(評価方法) |
|--------|--|--|
| 導 入 | <p>1 あいさつをする。</p> <p>2 友達のスピーチを聞く。</p> <p>3 課題を確認する。</p> | <p>○ 元気よく行い、楽しい雰囲気を作る。</p> <p>○ 「どこで」「何をして」「どうだったか」を話し手・聞き手に意識させる。</p> |
| | <p>今日のめあて： サラ先生に分かりやすい紹介文に書き直そう。</p> | |

| | | |
|-------------|----------------------------------|---|
| 展 開 | 4 下書き用紙の助言を参考に、清書用紙に紹介文を書き直す。 | ○ 1文も書けない生徒には、「メガネをかけている」、「代表作」、「年齢」、「性別」、「他の34人と違う特徴」など書く内容を助言し、数文書いている生徒には、文法や表現について助言をしておく。 ○ 適宜和英辞書を活用させる。 |
| | 5 友達を書いた紹介文を読んで、だれのことを書いているか答える。 | ○ 3～4人のグループを作らせる。話し合いがスムーズに進むように、じゃんけんで司会者を決めさせる。 ○ 付箋紙に正解と思われる日本人の番号と、そう思う理由を書かせる。分からない場合は、どんなヒントが欲しいかを書かせる。 |
| | 6 班の中で一番分かりやすかった作品を一つ選ぶ。 | ○ 「ALTにとって分かりやすいもの」という基準で多数決で決める。 ○ 選ばれた人が、セリフを全員で振り分ける。 |
| | 7 英作文を書き直すためのコツを聞く。 | ○ 石川遼選手の例を示し、書き直すコツを示す。 1 主観的ではなく、具体的に示す。 2 表現を豊かにするために、助動詞をもう一つ使う。 3 接続詞 and, but, so 使って、分かりやすくする。 |
| | 8 書き直すコツと友達のヒントを参考に、自分の作品を書き直す。 | ○ よい英文を書いている生徒の例を黒板に示す。 ◎ 分かりやすい英文になるように、紹介文を積極的に書き直している。【関心・意欲・態度】(清書用紙) |
| ま と め | 9 次時の予告を聞く。 10 あいさつをする。 | ○ 次時までには音読練習しておくことを告げる。 |

8 評価基準

| | A 十分に満足 | B おおむね満足 | C 努力を要する |
|---|-------------------------|-----------------------|--|
| 分かりやすい英文になるように、紹介文を積極的に書き直している。【関心・意欲・態度】 | 2か所以上書き直したり、付け加えたりしている。 | 1か所書き直したり、付け加えたりしている。 | 書き直したり、付け加えたりすることができない。 →can と have to を使った英文が書けるように机間指導する。 |

9 生徒の反応

自分が用意した英語がALTに通じてうれしそうだった。

英作文は苦手だが、今まで学習してきた表現をつなぎ合わせると、まとまった英文になることに驚いてきた。

紹介する人物は生徒たちの「紹介したい日本人」とALTの「知っている日本人」を合わせて34人選んだ。そのため、海外で有名な日本人を生徒たちが逆に知ることにもなった。

10 授業を終えて

英作文を書く機会はできるだけ多くとりたいことは分かっているけど、学期に1回程度の手紙を書かせて終わってしまうことが多い。文法の説明に追われ、書く時間がなかなか取れないことが多い。今回はあまり自由英作文として扱わない助動詞の単元での書く指導を提案した。書いたものを友達やALTに読んでもらうことで、次の書く意欲につながったと思われる。新学習指導要領を踏まえ、書くことに慣れさせるためには、1つでも多くの単元で書く活動を取り入れた指導計画が必要である。

基礎・基本の定着については、英作文を「書きながら修正する」というスタンスで授業を展開した。従来の教師の添削に加え、自分の英作文が友達に理解してもらう時間を設けた。文法の修正については友達の指摘は効果があった。また「助動詞を使いなさい。」という指示をしていたので、女性シンガーの紹介文では、“She can sing very well. She has to practice singing.”と上手に文法の知識を活用して表現しているものも見られた。

Can You Get It?(下書き用)

2年6組 () 号 ()

- 助動詞を使ってヒントを書きましょう。
- 英語で書けない文は、日本語で書いておきましょう。

I'm going to tell you about a Japanese famous person.

I'll give you some questions.

First,

Second,

Third,

Fourth,

Now you must answer. Can you get it?

自己評価チェックリスト にを入れましょう。

標準レベル

- 助動詞 can (または can't) を使っているか。
- もう1つ助動詞を使っているか。have to, must (または don't have to, mustn't)

達人レベル

- ヒントになる英文を4つ以上書いているか。
- 接続詞 and, but, so を使っているか。

I'm going to tell you about a Japanese famous person.

I'll give you some hints.

First, He is a good actor.

Second, He walked on the red carpet.

Third, He is very popular in America.

Fourth, He is famous work "Last Samurai".

Now you must answer. Can you get it?

I'm going to tell you about a Japanese famous person. I'll give you some hints.

First, She is a junior high school student.

Second, She is from Hiroshima.

Third, She died from Atomic Bomb.

Fourth, She can fold origami.

Now you must answer.

Can you get it?